

学校長 檜尾尚樹

同窓生の皆様には日頃から母校の発展のため、格別の御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

私は平成二年から八年間本荘高校にお世話になりました。再び伝統あるこの学校に勤務できます喜びとともに、校長の重責をひしひしと感じております。

学校の近況をお知らせします。八月末には本高三大行事の最後を飾るクラス対抗が行われ、三年生が上位を独占し上級生の意地と矜持を見せてくれました。進路については、現在就職試験の真っ最中ですが、多くの三年生はこれから正念場です。職員室や廊下には朝早くから真っ暗になるまで必死に先生方に教えを請う生徒が溢れています。部活動では一・二年生中心の新人戦が行われ、先輩の実績を超えようと頑張っています。全ての生徒の夢が叶うことを祈る毎日です。

さて、今年度南九州で行われたインターハイに端艇部、柔道部、カヌー競技の選手が出場しました。特にその快挙に興奮し感激したのがカヌー競技です。3年生の阿部智礼君と佐々木絵君が500mカヤックペアで優勝に輝きました。厳しい練習を積み全国の頂点に立った努力と右文尚武の実践に敬意を表したいと思います。文化部でも放送部と科学部が全国大会に出場しています。

最近教育関係の本で、企業が社員を採用する時どこの大学を出たかよりも出身高校を見るようになったという記事を目にしました。これからの社会が真に求める力である「努力する能力」や「逞しさ」の評価のために、幅広い資質・能力の育成を担う高校の学びに注目するようになったようです。伝統校に息づく文武両道の精神や、切磋琢磨しあう学び合いが、生涯を逞しく生きぬく基盤をつくる事に気づき始めたのだと考えています。

本荘高校では校標に「右文尚武」「質実剛健」「玲瓏同氣」を掲げています。多くの中学生がこの理念に共鳴し、高い志と夢を持って本校の門をたたきます。我々本高職員に課された使命は、常に校標を語りながら生徒の心に火をつけ、自信を持たせることだと考えています。生徒諸君には、自らの夢を周囲に堂々と語り、失敗を恐れず勇気を持って困難にも挑戦することを希望します。

同窓生の皆様におかれましては、これからも本校への一層の御支援と御協力をいただきますよう重ねてお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。